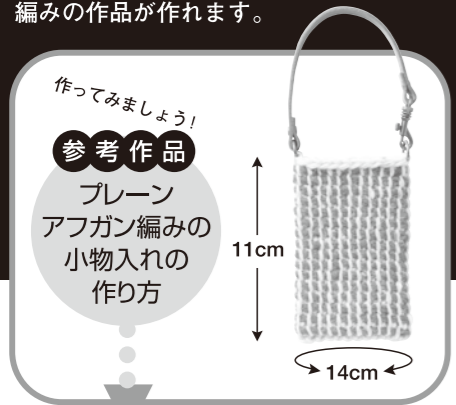


「匠」ダブルフックアフガン針

☆ダブルフックアフガン針とは☆
両端にかぎがあるアフガン針です。2本の糸と両方のかぎ先を使って、色々な輪編みの作品が作れます。



針の持ち方

2本の糸(A糸、B糸)を使用し、A糸で編んだ目をB糸で追いかけるように、ぐるぐる輪に編んでいきます。A糸(行き目)とB糸(追い目)では、針の持ち方が異なります。左手の糸のかけ方は、棒針編みやかぎ針編みの場合と同じです。

2色の糸の組み合わせでさまざまな編み地が楽しめます

表編み (プレーンアフガン編み)	裏編み	かのご編み
<p>※A糸で編んだ目をB糸で追いかけて1段ができます。</p> <p>2段め(B糸) 2段め(A糸) 1段め(B糸) 1段め(A糸)</p>		※作り目を奇数にします



A糸(行き目)
棒針の持ち方と同じです。針を上から軽く握り、親指と人さし指で針先を支えます。

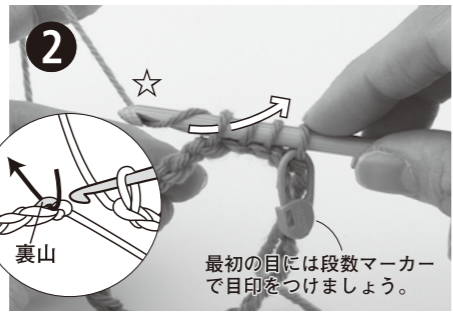


B糸(追い目)
かぎ針の持ち方と同じです。親指と人さし指で鉛筆を持つように握り、中指を針先に軽く添えます。

作り目、1段めの編み方



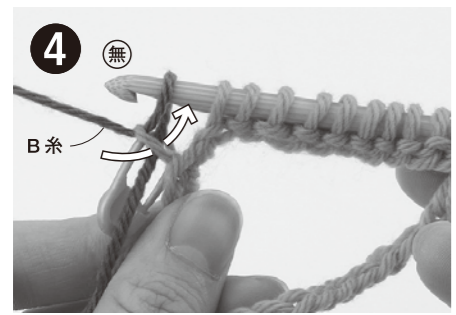
針先☆で、A糸のくさり編みを必要目数編みます。作り目のくさりはゆるめに編みましょう。



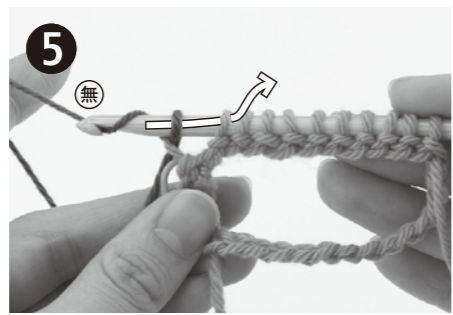
1目めの裏山に針を入れ、糸をかけ、2目を一度に引き抜き、輪にします。続けて、裏山を拾い、糸をかけ目を作っていきます。



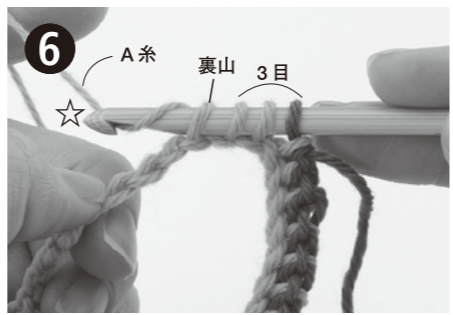
針の長さの半分くらいまで目を拾ったら、針先(無)(☆なし)が左にくるように、針を持ち替えます。



針先(無)にB糸をかけ、最初の1目を引き抜きます。

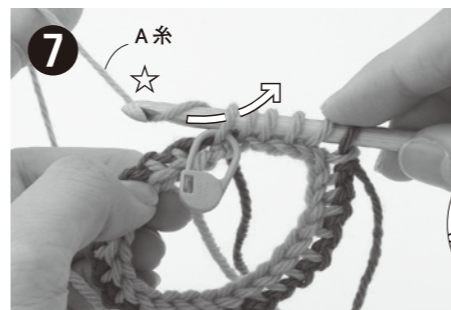


次から2目ずつ引き抜いていきます。残り3目になるまで繰り返します。

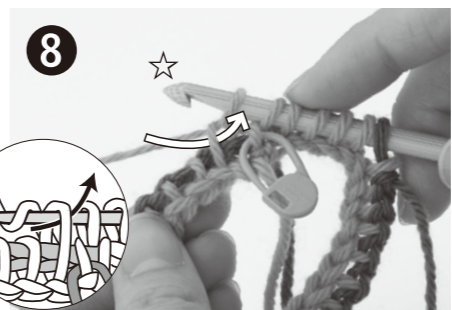


残り3目になったら、針先☆が左にくるよう針を持ち替え、②～⑥を繰り返し、最後の目まで裏山を拾います。

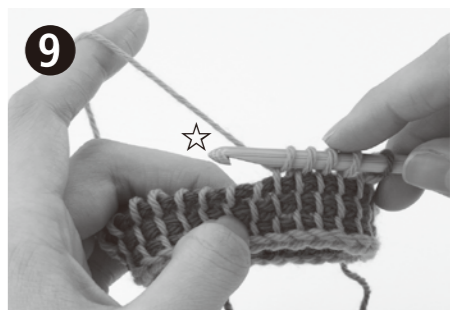
2段めからの編み方 ~裏山を最後の目まで拾ったら、次の目から2段めになります。(立ち上がりはつけません)



②で作った最初の目(段数マーカーをつけた目)に針を入れ、糸をかけて目を拾います。

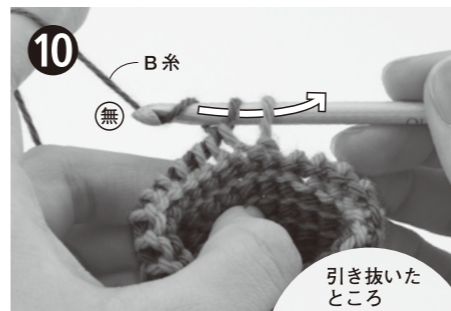


⑦と同じ要領で、A糸を順番に拾っていきます。

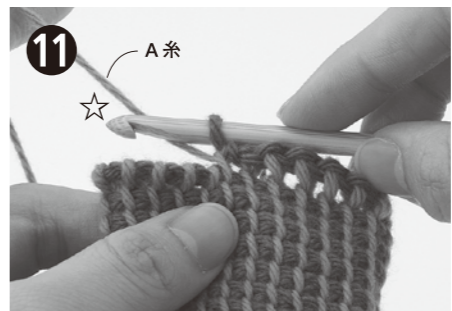


針の長さの半分くらいまで拾ったら、針を持ち替え、③～⑥の要領で繰り返し、必要段数を編んでいきます。

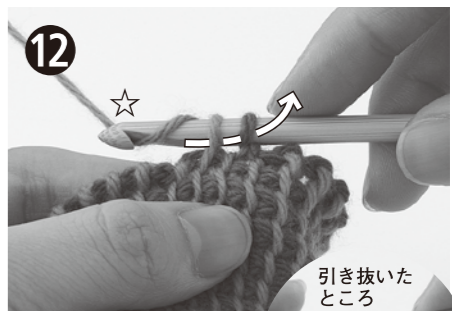
最後の段の編み方 ~引き抜き止め



最後の目にB糸をかけて引き抜きます。



編み地を表に返し、針を持ち替えます。左手の糸もA糸に持ち替えます。



前段の目(A糸)を拾い、針に糸をかけ、2目を一度に引き抜きます。

仕上げ



同様に、目を拾い2目を一度に引き抜く、を繰り返し、最後の目まで編みます。



⑬を中表にし、編み始めに残した糸で、底を巻きかがります。



好みの持ち手をつけて、完成です。
※作り方の写真は、見やすさのため、完成作品とは異なる毛糸を使用しています。

参考
裏編みの編み方
行き目(A糸)で、糸を手前に置き、前段の目(A糸)に針を入れます。手前から糸をかけ、向こう側に引き出します。追い目(B糸)は表編みと同様に引き抜きます。
※かのご編みは、表編みと裏編みを交互に編みます。

輪編みだけでなく、平編みも楽しめます。「匠」ダブルフックアフガン針で編む作品の紹介はこちらをご覧ください。
<http://www.clover.co.jp>